FAXNEWS
横浜市会　ほっとライン

日本共産党横浜市議団
電　話 045(671)3032
FAX　045(641)7100
№256　2009年4月17日(金)

市民アンケート速報　No.1
～4/17　513通

最高１日155通、うれしい悲鳴

党市議団が始めた市民アンケート用紙と封筒は、４月６～７日に横浜の３つの地区委員会に到着、地域のみなさん方のご協力で全戸配布していただいております。

アンケートの答が、８日に最初にファックスで届いたのを皮切りに、10日には郵送で７通、今週に入ってからは郵便で届いているほか、ファックスでも送られてきています。特に、15日以降は100通以上の束で届けられ、16日は最高の155通が届けられました。

一番のりは南区の女性、領収書添付のものも

一番早く届いたのは８日、南区の60歳代の女性からのファックスです。

くらし向きは非常に悪くなったに〇、横浜市政に大いに不満で、「福祉政策が不備、開港150周年のような予算を使うなら、他にまわしてほしい」と理由が書かれています。その他の意見として、「中田市政になって暮らしが悪くなった。福祉、医療、教育、保育の充実を願います」と書かれています。

青葉区の男性(70歳以上)からは、「医療費が高すぎる。一部負担金10%でロクな診断もせず、4800円は高い。薬剤料も高いこと。１割負担で１粒二百数十円もする薬がある」と、クリニックと薬局の領収書が添付されていました。

緑区の女性(70歳以上)は、「今まで何処へ言ったら腹の虫が修るかが判りませんでした。今日は、書いた事で感謝しています」とメモが入っていました。

20代、30代からも。金沢区からは132通も

自由記入欄への記入が多いのが特徴的です。なかには別紙にも記入して同封してくださる方も。また、20歳代、30歳代の若い人からも回答が寄せられています。

金沢区からは132通も返ってきています。それだけ市民のみなさんが政治に不満をもっているとことがうかがえます。

こんなに早く、こんなにたくさんのアンケートがかえってくるとは思っていなかった！というのが、市議団事務局の実感。集計が追いついていません。ようやく処理方法が確立しつつあるのが現状です。今後、寄せられた声などを順次お知らせしていくつもりです。

アンケートの配布をよろしくお願いいたします。

4・17まで	青葉	旭	泉	磯子	神奈川	金沢	港南	港北	栄	瀬谷	都筑	鶴見	戸塚	中	西	保土ヶ谷	緑	南	市外	未記入等	合計
	31	3	13	8	19	132	70	22	29	5	3	40	29	25	5	1	33	30	1	14	513